

宮城のがれき広域処理

三重への要請なくなる

東日本大震災で発生した
がれきの広域処理をめぐ
り、宮城県はこのほど、木
くずなど可燃物の受け入れ
を新たに要請する場合、東
北、関東の自治体に限るよ
うに方針転換したため、受
け入れを調整中だった三重
県が対象から外れた。県環
境生活部廃棄物・リサイク
ル課では「宮城県から連絡
はない。岩手県とは処理に
ついて調整中で、近いうち
に決まる」と話している。

広域処理は各地で反発が
起き、遠隔地では輸送コス
トがかかるとの批判がある
ため、宮城県は災害廃棄物
処理実行計画を見直し、近
くに依頼する方針を二十五

日に打ち出した。広域処理
が必要な宮城県のがれき百
十四万トのうち、十四万ト
は青森、山形、福島、茨
城、東京の五都県で受け入
れが始まり、残る百万トの
うち可燃物二十二万トは、
五都県など東北、関東の自
治体に依頼すれば処理が早
まると判断した。